

# 平成31年産 麦類技術情報



第1号 平成31年3月11日

宮城県美里農業改良普及センター

TEL 0229-32-3115 FAX 0229-32-2225

URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>

麦踏みを終了し、3月中旬～下旬を目安に幼穂形成期追肥を実施しましょう

## 1 気象経過 (10月上旬～2月下旬：アメダス鹿島台)

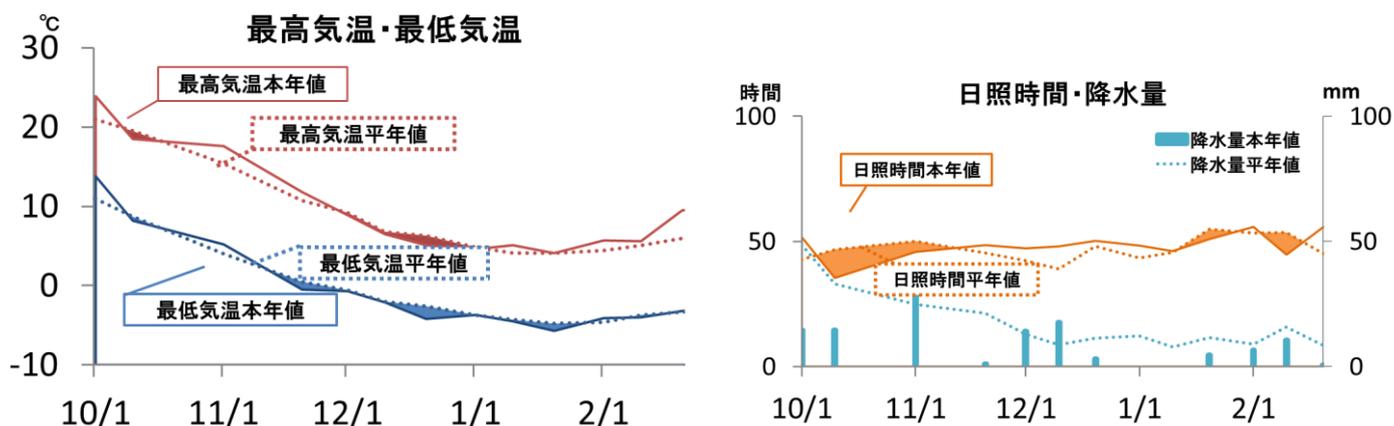


図1 気象経過(アメダス鹿島台)

最高・最低気温：10月～2月は概ね平年より高くなりました。ただし、12月は平年を下回りました。  
日照時間：10月中旬が平年より少照となりましたが、その後は概ね平年並～多くなりました。  
降水量：11月9日に34mmの降水量の記録がありましたが、その後は概ね平年並み～少なくなりました。

## 2 生育調査ほ生育概況

生育は、前年を上回っていますが、平年を下回っています。

表1 小麦生育調査結果

地区名	品種	播種日			2月10日調査					
					草丈			茎数		
		本年値	前年差	平年差	本年値 (cm)	前年比	平年比	本年値 (本/m <sup>2</sup> )	前年比	平年比
大崎市鹿島台	シラネコムギ	12月3日	21日遅	35日遅	4.7	61%	52%	271	129%	39%
涌谷町	夏黄金	11月2日	11日早	-	8.1	131%	-	607	293%	-

※1 平年値は過去5年間の平均値を使用。

※2 夏黄金(東北229号)は平成28年度に奨励品種。調査2年目のため前年比のみ記載。

## 2 今後の管理について

### (1) 麦踏み

麦踏みの晩限は、茎立期（主桿長 2 cm，幼穂 2mm 程度）までとなっています。幼穂が 3mm 以上となると、麦の生育を阻害するので、注意してください。本年は、遅くとも 3 月中旬頃までに終了しましょう。

#### > 鳥害を受けたほ場では、積極的に麦踏みを実施しましょう

鳥害を受けると、株が引っ張られて浮き上がり、凍柱害の影響が出て穂数が減少することがあります。被害軽減のために、鎮圧を実施しましょう。

### (2) 追肥

#### 土壌の酸性化防止に、尿素肥料で追肥を！

近年、石灰質資材の投入量の減少と酸性肥料の硫酸の施用により、好適土壌 pH6.0～6.5 を大幅に下回るほ場がみられます。pH5.0 以下では、発根・茎数・草丈が顕著に抑制されます。

酸性障害がみられるほ場では、中性肥料である尿素を積極的に使用しましょう。

表2 小麦標準施肥体系

施用時期		2月上～中旬 株直し追肥 【目的：葉色の維持】 ＜幼穂形成前＞	3月中～4月上旬 幼穂形成期追肥 【目的：穂数増加】 ＜幼穂長1mm～＞	4月中～下旬 減数分裂期追肥 【目的：一穂粒数を多くする】 ＜幼穂長3～5cm＞	5月上～中旬 穂揃い期追肥 【目的：千粒重，タンパク含量を高める】 ＜80～90%が出穂＞
栽培品種	肥料形態				
シラネコムギ	窒素成分量	基本的に 行わない  ※ただし、茎数の不足(400本/㎡以下)や、著しい鳥害がみられる場合は、窒素成分で1kg/10aを目安に施用する。	2.5kg/10a	5kg/10a	2.5kg/10a
	尿素(現物量)		5.5kg/10a	11kg/10a	5.5kg/10a
	硫酸(現物量)		12kg/10a	24kg/10a	12kg/10a
夏黄金 ゆきちから	窒素成分量	基本的に 行わない  ※ただし、茎数の不足(400本/㎡以下)や、著しい鳥害がみられる場合は、窒素成分で1kg/10aを目安に施用する。	2.5kg/10a	5kg/10a	5kg/10a
	尿素(現物量)		5.5kg/10a	11kg/10a	11kg/10a
	硫酸(現物量)		12kg/10a	24kg/10a	24kg/10a

#### > 鳥害を受けたほ場では、茎数確保のために早期追肥を実施しましょう

著しい鳥害を受けたほ場では、穂数減少を補うために、早期に株直し追肥を実施してください。幼穂形成期が近い場合は、株直し追肥と合わせて、早期に追肥を実施しましょう。穂数が不足するほ場では、幼穂形成期以降の減数分裂期・穂揃期追肥を標準より控え、品質低下を防ぎましょう。

### (3) 雑草防除

早期発見・早期防除に努めましょう。

表3 小麦に使用できる除草剤 (平成31年3月8日現在)

剤名	適用雑草	使用時期	使用方法	使用量	散布液量	使用回数
MCPソーダ塩	一年生及び多年生広葉雑草	幼穂形成期 (但し収穫45日前まで)	雑草茎葉散布	200~300g /10a	70~100L /10a	1回
ハーモニー75DF 水和剤	スズメノテツポウ 一年生広葉雑草	播種後~節間伸長前	雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布	5~10g /10a	100L/10a	1回
アクチノール乳剤	畑地一年生 広葉雑草	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	雑草茎葉散布	100~200ml /10a	70~100L /10a	2回以内
バサグラン液剤 (ナトリウム塩)	一年生雑草 (イネ科を除く)	小麦の生育期 (雑草の3~6葉期 但し、収穫45日前まで)	雑草茎葉散布	100~200ml /10a	70~100L /10a	1回
エコパート フロアブル	一年生広葉雑草	小麦節間伸長開始期前まで 但し、収穫45日前まで (広葉雑草2~4葉期、 ヤムグラ2~6節期)	雑草茎葉散布	50~100ml /10a	100L/10a	2回以内

◎農薬使用の際は最新の情報を確認してください。  
また、散布の際は飛散防止\*対策を講じてください。

◇◇◇平成31年春の農作業安全確認運動実施中◇◇◇

実施期間 平成31年3月1日~平成31年5月31日

重点推進テーマ

まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全

